

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112J006		絵画 (映像メディア表現を含む。)(Painting)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	1	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 久間 清喜 E-mail kkuma@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	中学校美術で扱う絵画領域について知識を習得するとともに、用具の使用法をはじめ、映像メディア表現を含む絵画表現の基礎的な事項を学ぶ。制作した作品を記録し、客観的な鑑賞の手がかりとする。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 中学校美術で扱う絵画領域について基礎的な知識と技術を習得できる。																	
目標2 映像メディアについて学び、自身の発想力とアイデアを創出できる。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 油彩画について																	
2 用具の準備、モチーフの設定																	
3 木炭、コンテなどによるデッサン1																	
4 エスキース制作																	
5 色画用紙によるコラージュ																	
6 グリザイユ技法について																	
7 グリザイユ技法による制作																	
8 調子について																	
9 マチエールについて																	
10 構図について																	
11 映像メディアについて																	
12 デジタルカメラの基礎																	
13 デジタル画像の基礎																	
14 画像の編集																	
15 作品鑑賞会 まとめ																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	課題ごとに学生自身が制作した作品についてプレゼンテーションを行い、それについて学生間で検討する。					工夫	その	他の								
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	配布資料、参考作品などをもとに必要なに応じて予習する。(7h)															
	事後	授業で学んだ技法や表現について関連する作家などの作品を調べ、機会があれば美術館などで鑑賞する。(15h)															
教科書	適宜プリントを配布する。																
参考書	適宜プリントを配布する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	作品	70%															
	作品プレゼンテーション	30%															
注意事項	作品制作に必要な基本的な道具は教室で準備するが、材料などは受講生各自で購入する必要あり。																
備考																	
リンク	URL																